

経営概要

株式会社御子神農園

◆代表者・所在地

御子神 昭則 千葉県南房総市

◆設立

令和3年11月

◆経営規模

露地野菜（なばな等）33ha、施設野菜（トマト等）0.5ha

◆従業員数

役員1名、正社員4名、パート・アルバイト46名

◆事業内容

なばなやトマト等の野菜を主体とした生産に取り組む。



株式会社御子神農園 代表の御子神氏

1 現状と相談までの経緯

相談者は、県内屈指のなばなの産地である南房総市にあって、なばなを主体に経営規模の拡大を図ってきた。

令和5年9月に後継者が就農したことをきっかけに、**経営継承を計画的に進める必要性を感じていた**が、日々の業務に追われ、家族内の話し合いの場を作れずにいた。そうした中、日頃から付き合いのある普及指導員から、「千葉県農業経営・就農支援センター（以下、支援センターという。）」の専門家等による支援を紹介された。

2 相談内容

就農した後継者に経営継承を考えているが、計画的で円滑な経営継承をするために、**具体的な経営継承の方法や進め方について相談したい**。

また、今後も規模拡大を進めていきたいが、経営継承を進めることを機に、経営ビジョンを明確にさせるため、経営診断を受けたい。

3 支援内容

■支援チームによる支援計画の策定

普及指導員による現状分析や専門家による経営診断を踏まえて、相談者が円滑に経営継承を進めていけるよう、経営戦略会議にて支援方針を検討し、中小企業診断士を中心とした支援チームを編成した。

■専門家派遣を通じた助言の実施

経営戦略会議で決定した支援方針に沿って、支援センターが中心となり、**中小企業診断士の派遣**を調整し、普及指導員と共に相談者の経営継承計画の策定に向けた支援を行った。

・経営継承の重要性や方法の助言（中小企業診断士）

時間をかけて段階的に経営継承を行う重要性について理解を深め、自社株式を後継者に継承する方法や株式買収の資金準備のために活用できる支援策についても助言を行った。

・経営継承計画の策定支援（中小企業診断士）

経営継承計画シートを基に、相談者と家族が話し合って作成した経営継承計画案に対して、人脈や生産技術、経営ノウハウ等の無形資産や株式の継承時期などについて助言を行った。

支援チーム構成員：

中小企業診断士、普及指導員、
農業経営・就農支援センター専属スタッフ

経営継承計画シート

策定された経営継承計画シート

■ 支援を受けて・・・

専門家からの助言を受けて、経営継承の方法だけでなく、**今後5年後、10年後に向けて、具体的に「いつ、何を、どのように」進めていくか整理することができた。**また、**将来ビジョンや経営目標が明確になった。**

■ 今後の展開

経営継承に向けた準備の状況を確認しながら、**策定した経営継承計画の改善や見直しを進める**とともに、取引先などのステークホルダーを洗い出し、経営継承に向けて関係者に周知を図っていく必要がある。

また、**求める人材の確保と経営者を支える右腕の育成**のために、従業員にとって魅力のある職場づくりを目指す。



なばなの収穫風景

喜びの声

相談する中で、自社の強み、弱み、経営課題を意識し直すきっかけとなりました。また、経営継承計画シートを後継者と考えながら作成することで、5年後、10年後の2人の目標が定められたので良かったです。

専属スタッフ所感

相談者は、早い段階から経営継承について考え、計画的に継承を進める重要性について理解されており、専門家による支援を受けながら、家族内で話し合ったことで、スムーズに経営継承計画を策定することができました。

将来の経営の方向性も数値目標をしっかりと掲げられており、円滑な経営継承と経営の継続的な発展が期待されます。

<支援機関> 千葉県農業経営・就農支援センター

組織概要

■ 相談窓口

【経営・就農相談】 千葉県農業者総合支援センター
住 所：千葉県千葉市中央区本千葉町9-10
千葉県JA情報センタービル1階

電話番号：0800-800-1944

受付時間：月曜日～金曜日（年末年始・祝日を除く）
9：00～12：00 13：00～17：00



千葉県JA情報センタービル外観

農業者や就農希望者からの相談に対しては、千葉県農業者総合支援センターに総合相談窓口を設置するとともに、経営関係は県担い手支援課及び各農業事務所、就農関係は前述の機関に加えて（公社）千葉県園芸協会、（一社）千葉県農業会議にも相談窓口を設置し、関係機関が連携して就農から定着、経営発展までのサポートを一貫して行います。